

# 森からのおくりもの

**本年も課題の前進に  
向けて創意工夫を**

新年あけまして

おめでとうございます。

年頭にあたり謹んでご挨拶申しあげます。

昨年は、新型コロナウイルス感染の拡大により生活、行動様式も大きく様変わりしました。

このような中、関係機関等との連携により、コウヨウザンの普及、ICTを活用した業務の効率化、シカ害等の獣害対策を含めた技術開発、森林総合監理士等の育成、森林体験活動や森林環境教育、緑の募金活動など幅広くご協力頂きありがとうございました。

それぞれの課題に向けて

関係機関等との連携で

本年も、関係機関等と連携して、創意工夫を凝らしながら、それぞれの課題に向けて、日々取組を進めてまいります。

引き続き、皆様方のご協力を  
よろしくお願い致します。

技術普及課一同



1月20日(水)

「四国森林・林業研究発表会」

「令和2年度 四国森林・林業研究発表会」につきまして、1月20日(水)(8時40分～15時00分)に、四国森林管理局内の会議室等において開催いたします。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、当日の出席者は発表者、審査委員、会場スタッフのみで執り行うこととしております。

発表課題は14課題、内訳は管内森林管理署等から10課題、研究機関等による特別発表4課題です。

当日のプログラム(発表課題・発表者)、発表要旨については、局HP(下記)に掲載しています。

なお、発表結果についても同HPでお知らせします。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>)



## 編集後記

令和3年、干支は丑(牛)。牛は、12支の2番目、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期と。

本年も体調に留意して、日々の生活を過ごしましょう。



「ミツマタ」  
って



ミツマタ(三椏)はジンチョウゲ科の植物で、室町時代ごろに渡来(写真)。

原産地は中国からヒマラヤ。枝先が毎年三つ又に分岐して成長するのでこの名前がついた。高さが2～3m程度にしかならない落葉性の低木で春先にジンチョウゲよりひと回り小ぶりの黄色の花を芳香とともに咲かせる。

ミツマタは、樹皮が強靱な繊維を持つために、コウゾ、ガンピなどと並んで和紙の原料植物。高知県や徳島県などの山間部では、かつて山村の土地利用として焼き畑地域があり、広葉樹林などを開墾した後にミツマタを植栽することも多かった。比較的標高が高い中山間地で降水量の多い埴土を好むので針葉樹のスギ植栽適地と重なることも。

洋紙の普及とミツマタの加工が重労働であることも影響し、和紙生産の衰退とともに、ミツマタ畑はスギ林に代わってきた。そのような地域では野生化したミツマタも。

冬枯れの山にかすかに黄色く映えるミツマタの花は、私たちの目を和ませてくれると同時に、山村のかつての生活を思い起こさせてくれる。

森の花を楽しむ101のヒント  
(日本森林技術協会)